



東京園芸ニュース (28年度-40号)

平成28年8月 / 群馬県東京園芸情報センター

今年も品質良好！尾瀬片品のアジサイがいよいよ出荷スタート ～ 東京・大阪の生花市場で展示PR ～

8月22日より尾瀬片品からアジサイの市場出荷がスタート

切り花アジサイの全国屈指の産地として知られる JA 利根沼田 尾瀬片品アジサイ生産部会では、8月22日（出荷日は前日）より今シーズンの市場出荷販売が始まりました。現在は「グリーンアナベル*」や「スターバースト*」が主に出荷され、9月中旬以降には「ピンクミナヅキ*」や「ユニーク(秋色)*」、そして「秋色ミナヅキ*」の出荷が始まり、11月中旬頃まで続きます。（*は当部会の規格上の名称）



本県産アジサイのセリ(昨年度の様子)



入荷した尾瀬片品のアジサイ

今年の切り花アジサイの生育は概ね順調で、現在のところ品質も良好で市場においても一定の評価がされています。また、今年は防除指導の徹底により病害発生等のロスも少ないことから、潤沢な出荷が見込まれています。

東京・大阪の生花市場で尾瀬片品のアジサイを市場展示PR

当部会では、今シーズンのお荷開始に合わせて東京都内の生花市場（大田花きや FAJ、世田谷花き）のほか、大阪府のなにわ花いちばのショーケースなどで市場展示を実施し、関係者に向けて産地 PR が図られました。

8月15日(月)から展示された大田市場では、グリーンアナベルをサイズ別に展示するほか、他の花材とのフラワーアレンジで装飾するなど、工夫を凝らした展示が行われ注目を集めていました。



世田谷花きでの展示

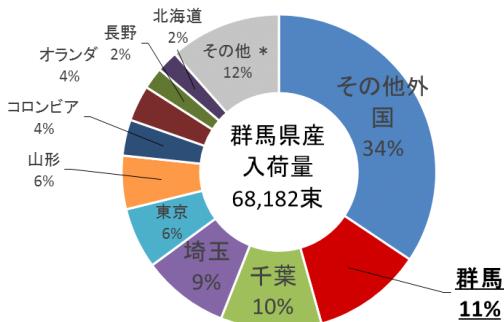


大田花きでの展示

全国屈指の切り花アジサイ産地「尾瀬片品アジサイ生産部会」

当部会は、全国でも有数の切り花アジサイ産地として有名で、東京都中央卸売市場においても本県は国内第1位の入荷量を誇っています。また、市場関係者からは「他産地よりも頭2つ、3つ抜き出ている。花のボリューム、しまり、色のりなど品質が優れており、『切り花アジサイの責任産地』と言える。」と非常に高い評価を受けています。県では切り花アジサイを地域重点振興品目と位置づけ、さらなる単収向上を図るほか、小花房化技術の確立を推進しています。

平成27年東京都中央卸売市場におけるアジサイ(切)の産地構成



サイズ別の展示
(上:3L、右下:2L、左下:1L)



秋色アジサイ(紫)